

地球科学輻合ゼミナール

(2013年度 後期 第3回)のご案内

東北地方太平洋沖地震が誘発したこと
--「遠地地震活動」と「大地震の長期評価の見直し」--

宮澤 理稔

京都大学 防災研究所

東北地方太平洋沖地震（東北沖地震）により、本震域よりはるかに離れた場所でも地震活動が活発化した。これらは大振幅の地震波が通過することによって誘発された地震活動であると考えられる。この動的誘発作用と呼ばれる地震学的現象と、その意味について紹介する。

また東北沖地震は、政府が巨大地震も考慮した海溝型地震発生の長期評価の見直しを行うきっかけともなった。東北沖地震発生前後の大地震の長期評価と見直しについて、その現状と課題を南海トラフの場合を含めて、予測手法という観点から議論する。

10月30日(水) 午後4:30～午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室